

製品名: AKAP 95 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06727**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	AKAP8
別名	AKAP8; AKAP95; A-kinase anchor protein 8; AKAP-8; A-kinase anchor protein 95 kDa; AKAP 95
遺伝子 ID	10270.0
SwissProt ID	O43823
免疫原	抗血清はヒト AKAP8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 331-380

背景

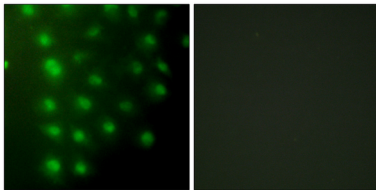
この遺伝子は、A キナーゼアンカータンパク質ファミリーのメンバーをコードします。A キナーゼアンカータンパク質は、タンパク質

キナーゼ A (PKA) の RI/RII サブユニットへの結合ドメインを含む足場タンパク質であり、PKA やその他のシグナル分子を特定の細胞内位置にリクルートします。この遺伝子は、PKA の RII α サブユニットに結合する核 A キナーゼアンカータンパク質をコードし、PKA とコンデンシン複合体をクロマチンに標的とすることで、有糸分裂中の染色体凝縮に関与していると考えられます。この遺伝子の擬似遺伝子は、9 番染色体短腕に位置しています。[RefSeq 提供、2011 年 5 月]機能: cAMP 依存性タンパク質キナーゼ (PKA タイプ II) の細胞内区画化を媒介するアンカータンパク質。類似性: AKAP95 ファミリーに属します。細胞内位置: 核マトリックスに関連。有糸分裂中に凝縮したクロマチンから再分配され、分離される。サブユニット:有糸分裂中に PKA の二量体 RII- α 調節サブユニットに結合する。組織特異性:心臓、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓で高発現する。、

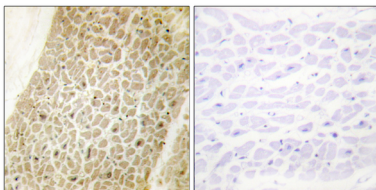
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

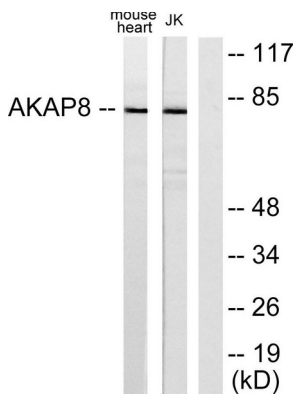
画像データ



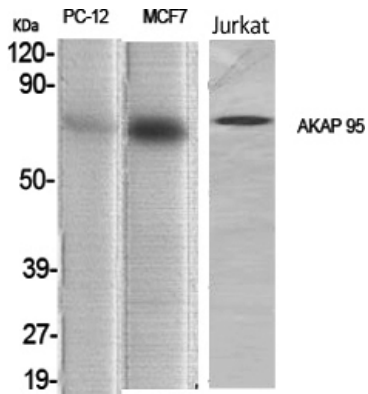
AKAP8 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



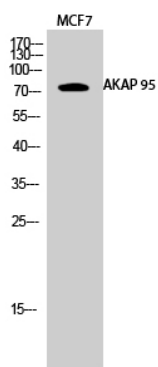
AKAP8 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



AKAP8 抗体を用いたマウス心臓および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した AKAP 95 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した AKAP 95 ポリクローナル抗体を使用した MCF7 細胞のウエスタンブロット分析。